

教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

学年の目標

- ・ゆっくりはっきりと話されれば、クラスメートの予定や将来の夢などの日常的话题について話の概要や要点を聞き取ることができる。
- ・日常的话题についての英文を読み、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。
- ・日常的话题について、事実や自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えあったり、受け取った情報に関連した質問をしたりすることができる。
- ・視覚的補助を使いながら、日常的话题について、事実や自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。
- ・日常的话题について、事実や自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて表現を工夫したまとまりのある文章を書くことができる。

【略号】 P=Part, RT=Read and Think, UA=Unit Activity, SA=Stage Activity  
 【使用領域】 L=聞くこと, R=読むこと, SI=話すこと[やり取り], SP=話すこと[発表], W=書くこと

月(3学期制)	単元と目標 ※ <span style="background-color: #cccccc;">    </span> は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">知</span> 知識・技能 / <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">思</span> 思考・判断・表現 / <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">態</span> 主体的に学習に取り組む態度)	言語の使用場面 ★話題・テーマ	言語の動き ▼工夫(ストラテジー)
			単元	パート			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	学び方コーナー	4-5										
	Unit 0 My Spring Vacation	6-7	2		クラスメートのことをよりよく知るために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを伝え合うことができる。	◆動詞の過去形	L・R・SI・W	L・R・SI・W	L・R・SI・W	[知識]過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) [技能]過去形を用いた文の理解をもとに、春休みにしたことやその感想について、伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・W) [思考]クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしている。(L・R・SI・W) [態度]クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしようとしている。(L・R・SI・W)	●教室 ★春休みの思い出 出	▼話し掛ける ▼質問する、答える ▼報告する
	Unit 1 What can we experience on a trip?		8	1	おたがいの予定を知るために、相手の予定について書かれた文章を理解したり、自分の予定を伝えたりすることができる。	be going to	R・SP	SP	SP	[知識] 未来を表す be going to や will を用いた文、<show など+人+もの>、<call+A+B>の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能]未来を表す be going to や will を用いた文、<show など+人+もの>、<call+A+B>の文の理解をもとに、これからの予定や計画、旅行の報告などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP)	●メール ★連休の予定 内	▼質問する、答える
				1	これからの予測やおたがいの意志を伝え合うために、相手がある場で判断したことを理解したり、自分の判断を即興で伝えたりすることができる。	助動詞 will	L・R・SI・SP	L・R・SP	L・R・SP	[思考] 留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(L・R・SI・SP・W) [態度] 留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(L・R・SI・SP・W)	●シンガポール市 ★今日の旅程、食事	▼質問する、答える ▼申し出る
				2	旅行の思い出を伝え合うために、旅行について報告する文章を読んで概要を捉えたり、ある場所についての情報を伝える文章を書いたりすることができる。	SVOO	R・SI・SP	R・W	R・W		●メール ★マーライオン、シンガポールの言語	▼紹介する、説明する ▼描写する
				2	旅行の楽しさと海外の文化や言語について理解するために、旅行について報告する文章を読んで概要を捉えることができる。	SVOC(C=名詞)	R・SP	R・SI・SP	R・SI・SP		●スピーチ ★多民族国家	▼報告する ▼紹介する、説明する ▼感想を述べる ▼写真を示す

月(3学期制)	単元と目標 ※ <span style="background-color: #cccccc;">    </span> は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> 知識・技能 / <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 思考・判断・表現 / <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 主体的に学習に取り組む態度) 主体的に学習に取り組む態度	言語の使用場面 ★話題・テーマ ▼言語の働き ■工夫(ストラテジー)	
			単元	パート			パート名	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度
				2	UA			SP・W	SP・W		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予定表</li> <li>★ 休日のプラン</li> <li>▼ 紹介する</li> <li>▼ 質問する、答える</li> </ul>	
5	Real Life English 1 機内放送 □機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	17	1		機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	◆be going to, 助動詞 will	L・SP	L	L	<ul style="list-style-type: none"> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識] 予定などを伝える表現の意味や働きを理解している。(L・SP)</li> <li>[技能] 予定などを伝える表現の意味や働きの理解をもとに、近い未来の情報について話される内容を捉える技能を身につけている。(L・SP)</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 旅行をより楽しむために、飛行機に搭乗している状況で、機内放送から必要な情報を聞き取っている。(L)</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 旅行をより楽しむために、飛行機に搭乗している状況で、機内放送から必要な情報を聞き取ろうとしている。(L)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機内放送</li> <li>★ フライトや現地</li> <li>▼ 情報を伝える</li> <li>▼ 歓迎する</li> <li>▼ 謝る</li> <li>■ 必要な情報を聞き取る</li> </ul>	
	Grammar for Communication 1	18	1		5つの文構造の形・意味・用法を整理し、理解を確かめる。	◆5つの文構造				<ul style="list-style-type: none"> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識] 5つの文構造の形・意味・用法を理解している。</li> <li>[技能] 動詞の種類や伝えたい内容に合わせて、適切な構造の文を使い分ける技能を身につけている。</li> </ul>		
	Unit 2 What is local food? 題材 日本や外国の料理の歴史や変化について考える。 活動 好きな食べ物について、理由や考えと共に紹介することができる。	19-26	8	1	P1	どんなときに何をするかを伝え合うために、普段していることや好きな食べ物などについて伝え合うことができる。	接続詞 when	L・R・SI	L・R・SP	L・R・SP	<ul style="list-style-type: none"> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識] 接続詞 when, if, because, that を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP)</li> <li>[技能] 接続詞 when, if, because, that を用いた文の理解をもとに、時や条件、理由や考え・意見などを伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI・SP)</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> ALT の先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書いている。(L・R・SI・SP・W)</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> ALT の先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。(L・R・SI・SP・W)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スピーチ</li> <li>★ ラーメン</li> <li>▼ 発表する</li> <li>▼ 説明する</li> </ul>
				1	P2	ある条件のもとですることを伝え合うために、したいと思っていることや好きな食べ物などについて伝え合うことができる。	接続詞 if	L・R・SI	L・R・SI・SP	L・R・SI・SP		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教室</li> <li>★ ラーメン店</li> <li>▼ 仮定する</li> <li>▼ さそう</li> </ul>
				2	RT1	さまざまな料理について理解を深めたり、知っていることを伝えたりするために、料理について書かれた文章から事実や考え、理由などを読み取ったり、自分から伝えたりすることができる。	接続詞 because	R・SI	R・SI・SP	R・SI・SP		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語の本</li> <li>★ ラーメンの種類</li> <li>▼ 説明する</li> <li>▼ 理由を述べる</li> </ul>
				2	RT2	料理や食文化の歴史や変化について理解するために、日本や外国の料理などについて書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを話したり書いたりすることができる。	接続詞 that	R・SP	R・W	R・W		<ul style="list-style-type: none"> <li>● スピーチ</li> <li>★ 食文化の融合</li> <li>▼ 紹介する、説明する</li> <li>▼ 意見を言う</li> </ul>
				2	UA	ALT の先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書くことができる。			SI・W	SI・W		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 記事</li> <li>★ イチオシのご当地グルメ</li> <li>▼ 紹介する</li> </ul>
	Real Life English 2 旅行先で □場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。	27	1		場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。	May I ...? Could you ...?	SI	SI	SI	<ul style="list-style-type: none"> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識] ていねいに許可を求める表現や依頼する表現の意味や働きを理解している。(SI)</li> <li>[技能] 相手にしてほしいことについて、ていねいに許可を求める表現や依頼する表現を用いて、伝えたり答えたりする技能を身につけている。(SI)</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 旅行をより楽しむために、相手や場面に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりしている。(SI)</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 旅行をより楽しむために、相手や場面に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりしようとしている。(SI)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光地</li> <li>★ 写真撮影のお願</li> <li>▼ 話し掛ける</li> <li>▼ 丁寧に依頼する</li> <li>▼ 丁寧に許可を求める</li> <li>▼ 許可する、引き受ける</li> </ul>	

月(3学期制)	単元と目標 ※ <span style="background-color: black; color: black;">          </span> は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">知</span> 知識・技能 / <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">思</span> 思考・判断・表現 / <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">態</span> 主体的に学習に取り組む態度) 主体的に学習に取り組む態度	言語の使用場面 ★話題・テーマ ▼言語の働き ■工夫(ストラテジー)	
			単元	パート			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	Grammar for Communication 2	28	1		接続詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 ◆接続詞				<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">知</span> [知識]接続詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 [技能]2つ以上の文の関係を考えて、適切な接続詞を使う技能を身につけている。			
6	Unit 3 What kind of job are you interested in? 題材 自分の将来像や夢について考える。 活動 将来像や夢などについて考え、取り組んでいきたいことについて説明することができる。	29-36	8	1	P1	おたがいのことをよりよく知るために、動作や行為について、それをする目的を理解したり伝えたりすることができる。	不定詞(目的を表す副詞的用法)	R・SI	R・SP	R・SP	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">知</span> [知識]不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能]不定詞を用いた文の理解をもとに、何かをする目的や感情の原因、すべきことや大切なことなどについて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">思</span> 将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書いている。(L・R・SI・SP・W)	●注意事項が書かれたお知らせ ★職場体験
				1	P2	おたがいの感情や気持ちを知るために、うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因について理解したり伝えたりすることができる。	不定詞(原因を表す副詞的用法)	L・R・SI	L・R・SI	L・R・SI	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">態</span> 将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。(L・R・SI・SP・W)	●校内 ★絵本 ▼報告する ▼感想を述べる
				2	RT1	読み聞かせの際によりよく伝えるために、文章に込められたメッセージを理解し、聞き手のことを考えて、そのメッセージを伝える音読をすることができる。	不定詞(形容詞的用法)	R・SP	R・SP・W	R・SP・W		●絵本の読み聞かせ ★『はらぺこあおむし』 ▼紹介する ▼助言する
				2	RT2	自分の将来像や夢について考えるために、大切なことやする必要があることなどについて、文章から理解したり伝えたりすることができる。	It is ... + to	R・SI	R・SP・W	R・SP・W		●職場体験のお礼状 ★職場体験で学んだこと ▼感想を述べる
				2	UA	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書くことができる。			SI・W	SI・W		●10年後の自分へのメッセージ ★好きなこと、得意なこと、自分に合う仕事 ▼意見を言う ▼報告する ▼質問する
	Real Life English 3 仕事についてのインタビュー □インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。	37	1		インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。 Thank you for ... —My pleasure. ◆不定詞、It is ... + to	L	L・SP	L・SP	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">知</span> [知識]時や理由、考えなどを伝える表現の意味や働きを理解している。(L) [技能]時や理由、考えなどを伝える表現の意味や働きの理解をもとに、仕事についてのインタビューを聞いて、その内容を捉える技能を身につけている。(L) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">思</span> 相手のことをよりよく知るために、仕事についてのインタビューを聞いて要点を捉え、自分ならどんな質問をしたいか考えている。(L・SP) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">態</span> 相手のことをよりよく知るために、仕事についてのインタビューを聞いて要点を捉え、自分ならどんな質問をしたいか考えようとしている。(L・SP)	●ラジオでのインタビュー ★ラグビー ▼質問する、答える ▼礼を言う		
	Learning Technology in English 技術・家庭(技術)	38	1		ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりすることができる。 ◆不定詞	SI	SI・W	SI・W	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">知</span> [知識]ロボットが活躍する社会に関する語彙を理解している。(SI) [技能]ロボットが活躍する社会に関する語彙の理解をもとに、これからの社会について考えを伝え合う技能を身につけている。(SI) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">思</span> ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりしている。(SI・W) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">態</span> ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりしようとしている。(SI・W)	★さまざまな場面 で活躍するロボット		
	Grammar for Communication 3	39	1		不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 ◆不定詞				<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">知</span> [知識]不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]不定詞を用いて、目的やしたいことなどを伝える技能を身につけている。			

月(3学期制)	単元と目標 ※ <span style="background-color: #cccccc;">    </span> は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> 知識・技能 / <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 思考・判断・表現 / <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 主体的に学習に取り組む態度) 主体的に学習に取り組む態度	言語の働き ●言語の使用場面 ★話題・テーマ ▼言語の働き ■工夫(ストラテジー)	
			単元	パート			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
7	Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food □自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。	40-43	4		自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。	◆既習事項の総復習	L・R・SI・SP・W	L・R・SI・SP・W	L・R・SI・SP・W	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]Unit 3までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) [技能]Unit 3までの学習事項を用いて、いちばん好きな日本食についてその特徴や好きな理由を整理し、メモにまとめて話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話している。(L・R・SI・SP・W) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話そうとしている。(L・R・SI・SP・W)	●ビデオレター ▼紹介する、 ★いちばん好きな説明する 日本食 ▼描写する ▼発表する	
	Let's Read 1 History of Clocks □説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。	44-47	4		説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。	◆既習事項の総復習	R	R・SI	R・SI	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]時間の経過を表す語句の意味や働きを理解している。(R) [技能]時間の経過を表す語句の意味や働きの理解をもとに、時計がどのような歴史をたどって発展してきたかを読み取る技能を身につけている。(R) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えている。(R・SI) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えようとしている。(R・SI)	●説明文 ▼説明する ★時計の歴史 ▼描写する	
9	Unit 4 What is important in a homestay? <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">題材</span> 日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考える。 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">活動</span> 海外との生活習慣や文化のちがいを知り、取るべき行動についての考えを伝えることができる。	49-56	8	1	P1	海外でのホームステイをよりよいものにするために、する必要がありことやないことについて理解したり伝えたりすることができる。	have to, do not have to	R・SI	R・SP	R・SP	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]have to、助動詞 must、動名詞の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能]have to や助動詞 must、動名詞の理解をもとに、しなければならないことや決まりごと、楽しんでいることなどについて話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(L・R・SI・SP・W) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(L・R・SI・SP・W)	●アメリカの留学情報サイト ▼助言・忠告する ★ホームステイ
				1	P2	海外でのホームステイをするために、しなければならないことやしてはいけないことについて理解したり伝えたりすることができる。	助動詞 must、must not	L・R・SP	L・R・SP	L・R・SP	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(L・R・SI・SP・W)	●ホストマザーとの対話 ▼指示する ▼約束する ★門限、節水
				2	RT1	海外でのホームステイをよりよいものにするために、ホームステイで起こる問題について書かれた文章の概要を捉えたり、アドバイスを書いたりすることができる。	動名詞(目的語)	R・SI	R・W	R・W		●サマースクール ▼報告する ★ホームステイ先での問題 ▼相談する、 ▼苦情を言う
				2	RT2	日本と海外の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考えるために、事実や書き手の気持ちを整理して体験談の概要を捉えたり、自分の考えを伝えたりすることができる。	動名詞(主語)	R・SI	R・SI	R・SI		●スピーチ ▼報告する ★ホームステイの体験談 ▼質問する
				2	UA	海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。			R・SI・SP・W	R・SI・SP・W	●留学生へのアドバイス ▼相談する ▼助言・忠告する ★日本の習慣やマナー	

月(3学期制)	単元と目標 ※ <span style="background-color: #cccccc;">    </span> は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> 知識・技能 / <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 思考・判断・表現 / <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 主体的に学習に取り組む態度) 主体的に学習に取り組む態度	言語の使用場面 ★話題・テーマ (ストラテジー)
			単元	パート			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
			パート名								
	Real Life English 4 ホームステイのお礼状 □お世話になった人 に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。	57	1		お世話になった人 に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。  I look forward to ... ◆動名詞	R・W	W	W	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]手紙を書くときの基本的な構成と表現を理解している。(R・W) [技能]手紙を書くときの基本的な構成と表現を用いて、お世話になったことなどについて、感謝の気持ちを伝える手紙を書く技能を身につけている。(R・W) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、思い出や気持ちなどを整理し、お礼の手紙を書いている。(W) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、思い出や気持ちなどを整理し、お礼の手紙を書こうとしている。(W)	●お礼の手紙 ●報告する ★ホームステイ先 ●礼を言う への感謝	
	Grammar for Communication 4	58	1		助動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 ◆助動詞				<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]助動詞を用いて、できることやしなければならないことを伝える技能を身につけている。		
10	Unit 5 What design is good for everyone? [題材] だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える。 [活動] だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えることができる。	59-66	8	1 P1 1 P2 2 RT1 2 RT2 2 UA	どのようにしたらよいかを知ったり説明したりするために、使い方や方法について、情報を捉えたり伝え合ったりすることができる。 どのようにしたらよいかを相手に説明するために、使い方や方法について、情報を捉えたり伝え合ったりすることができる。 だれもが暮らしやすい社会について考えるために、ユニバーサルデザインの意義について書かれた文章の要点を読み取ったり、自分の確信や喜びの気持ちなどを伝えたりすることができる。 だれもが暮らしやすい社会について考えるために、ユニバーサルデザインを生み出した人物の功績について書かれた文章の概要を捉えることができる。 だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりすることができる。	疑問詞+to 主語+動詞+(人)+疑問詞+to 主語+be 動詞+形容詞+that	R・SI L・R・SP R・SI	R・SP L・R・SI R・SP・W	R・SP L・R・SI R・SP・W	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be 動詞+形容詞+that〉の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能]〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be 動詞+形容詞+that〉の文の理解をもとに、どのようにしたらよいかや、確信やうれしいことなどについて話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。(L・R・SI・SP・W) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。(L・R・SI・SP・W)	●イベントの広告 ●宣伝する ★ユニバーサルデザイン ●イベントの展示 ●紹介する、 会場 説明する ★ユニバーサルデザイン ●スピーチ ●発表する ★ユニバーサル ●説明する デザイン ●英語の本 ●紹介する、 ★ロナルド・メイス 説明する ●意見交換 ●意見を言う ★したいことと実現の方法
	Real Life English 5 アナウンス・案内 □展示・販売会で流れるアナウンスやスタッフの案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。	67	1		展示・販売会で流れるアナウンスやスタッフの案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。  Why don't you ...?	L	L・SI	L・SI	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]イベントの情報などを伝える表現の意味や働きを理解している。(L) [技能]イベントの情報などを伝える表現の意味や働きの理解をもとに、アナウンスやスタッフの案内の内容を聞き取る技能を身につけている。(L) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 行きたいイベントとその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスやスタッフの案内を聞いて、必要な情報を聞き取っている。(L・SI) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 行きたいイベントとその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスやスタッフの案内を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。(L・SI)	●展示・販売会の案内 ●宣伝する アナウンス ●告知する ★イベント情報 ●歓迎する	

月(3学期制)	単元と目標 ※ <span style="background-color: black; color: white;">■</span> は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> 知識・技能 / <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 思考・判断・表現 / <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 主体的に学習に取り組む態度) 主体的に学習に取り組む態度	言語の使用場面 ★話題・テーマ ▼言語の働き ■工夫(ストラテジー)
			単元	パート			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
			パート名								
	Learning <i>Social Studies</i> in English <span style="background-color: black; color: white;">■</span> 社会	68	1		持続可能な社会について考えるために、SDGsの目標について理解し、取り組んでいきたいことを考えることができる。		R	R・SI・SP	R・SI・SP	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]SDGsに関する語彙を理解している。(R) [技能]SDGsに関する語彙の理解をもとに、SDGsの目標について読み取る技能を身につけている。(R) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 持続可能な社会について考えるために、SDGsの目標について理解し、取り組んでいきたいことを整理して話している。(R・SI・SP) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 持続可能な社会について考えるために、SDGsの目標について理解し、取り組んでいきたいことを整理して話そうとしている。(R・SI・SP)	★SDGsの目標
11	Unit 6 How can we make a good presentation? <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">題材</span> 身近なトピックを通して、調査や発表の効果的な方法について考える。 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">活動</span> 身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表することができる。	69-76	8	1 P1 1 P2 2 RT1 2 RT2 2 UA	身近なものをよりよく知るために、複数のものを比べた結果から事実を理解したり伝えたりすることができる。 身近なものをよりよく知るために、複数のものを比べた結果から事実や感想などを理解したり伝えたりすることができる。 調査の結果について理解したり伝え合ったりするために、複数のものを比べた文章の概要を捉えたり、調査の結果について感想を述べたりすることができる。 調査や発表の効果的な方法について考えるために、発表の内容について評価する文章の概要を捉えたり、アドバイスをしたりすることができる。 聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	比較表現(...er, the ...est) 比較表現(more ..., the most ...) 比較表現(better, best) 比較表現(as ... as ~) 比較表現(when ... )	R・SP	R・SI	R・SI	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能]比較表現を用いた文の理解をもとに、複数のものを比べて伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(L・R・SI・SP・W) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(L・R・SI・SP・W)	●クイズ ●質問する、 ★スポーツ 答える ●クラスのアンケート ●質問する、 一ト調査 答える ★カーリング ●意見を言う ▼礼を言う ●調査結果の発表 ●発表する、 ★スポーツ 報告する ●資料を使って発表する
	Real Life English 6 電車の乗りかえ □状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができる。	77	1		状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができる。	Could you tell me how to get to ...? - Take ... ◆主語+動詞+(人)+疑問詞+to	SI	SI	SI	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]乗り物での行き方や乗りかえ方法を伝える表現の意味や働きを理解している。(SI) [技能]乗り物での行き方や乗りかえ方法を伝える表現の理解をもとに、乗り物での行き方を伝える技能を身につけている。(SI) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 相手が目的地に到着できるように、状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えている。(SI) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 相手が目的地に到着できるように、状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えようとしている。(SI)	●道案内 ●質問する、 ★乗り物での行き方 答える ▼説明する ▼礼を言う
	Grammar for Communication 5	78-79	1		比較表現を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 ◆比較表現					<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]複数のものや人について、形や性質、気持ちなどを比較して伝える技能を身につけている。	
	Stage Activity 2 My School and School Life □自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。	80-83	4		自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。 ◆既習事項の総復習		L・R・SI・SP・W	L・R・SI・SP・W	L・R・SI・SP・W	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]Unit 6までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) [技能]Unit 6までの学習事項を用いて、自分の学校や学校生活について話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明している。(L・R・SI・SP・W) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明しようとしている。(L・R・SI・SP・W)	●ビデオレター ●説明する ★学校や学校生活 発表する

月(3学期制)	単元と目標 ※ <span style="background-color: #cccccc;">    </span> は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> 知識・技能 / <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 思考・判断・表現 / <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 主体的に学習に取り組む態度) 主体的に学習に取り組む態度	言語の使用場面 ★話題・テーマ ▼言語の働き ■工夫 (ストラテジー)
			単元	パート			パート名	知識・技能	思考・判断・表現		
12	Let's Read 2 A Glass of Milk □物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	84-87	4		物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	◆既習事項の総復習	R	R・SI	R・SI	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]場面や登場人物の心情を表す表現を理解している。(R)</p> <p>[技能]場面や登場人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って登場人物の気持ちを読み取る技能を身につけている。(R)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 気持ちをこめて音読したり英語劇を上演したりできるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取っている。(R・SI)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 気持ちをこめて音読したり英語劇を上演したりできるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取るようとしている。(R・SI)</p>	<p>●物語、英語劇 ▼描写する</p> <p>★親切、助け合い ▼礼を言う</p>
1	Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">題材</span> 世界遺産の特徴や抱える問題について知り、私たちが取るべき行動について考える。 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">活動</span> 世界遺産について知り、その特徴や価値を説明することができる。	89-96	8	1 P1	世界遺産などについて理解したり伝えたりするために、事実などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、事実を説明したりすることができる。	受け身(平叙文)	R・SP	R・SP	R・SP	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]受け身の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP)</p> <p>[技能]受け身の文の理解をもとに、世界遺産などについて事実を伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書くようとしている。(L・R・SI・SP・W)</p>	<p>●英語の本 ▼説明する</p> <p>★世界遺産</p>
				1 P2	世界遺産などについて理解したり伝えたりするために、事実などを整理し、対話の概要を捉えたり、相手に質問したり答えたりすることができる。	受け身(疑問文)	L・R・SI	L・R・SI	L・R・SI	<p>●スピーチの原稿 ▼発表する</p> <p>★タージ・マハル ▼紹介する、説明する</p>	
				2 RT1	世界遺産などについて理解したり伝えたりするために、事実や行為者などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、世界遺産などについて説明したりすることができる。	受け身(by ... つき)	R・SP	R・W	R・W	<p>●学校のウェブサイト ▼紹介する、説明する</p> <p>★富士山</p>	
				2 RT2	世界遺産の現状について知りこれからのことについて考えるために、世界遺産が抱える問題について書かれた文章の概要を捉えたり、説明したりすることができる。	受け身(助動詞つき)	R・SP	R・SI・SP	R・SI・SP	<p>●ウェブサイト ▼紹介する、説明する</p> <p>★世界遺産</p>	
2	Real Life English 7 買い物 □自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。	97	1		自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。	◆May I ...? —Yes, please. I'm looking for ...	SI	SI	SI	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]好みや要望を伝える表現の意味や働きを理解している。(SI)</p> <p>[技能]好みや要望を伝える表現を用いて、買い物のやり取りをする技能を身につけている。(SI)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 買い物でほしいものを探すことができるように、自分の好みや要望を伝えている。(SI)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 買い物でほしいものを探すことができるように、自分の好みや要望を伝えようとしている。(SI)</p>	<p>●買物 ▼申し出る</p> <p>▼質問する、答える</p>
	Grammar for Communication 6	98	1		受け身の文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆受け身				<p><span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]受け身の文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能]身のまわりのことや人について、受け身の文を用いて、異なる視点で情報を伝える技能を身につけている。</p>	

月(3学期制)	単元と目標 ※ <span style="background-color: #cccccc;">    </span> は関連のある他教科を示します。	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> 知識・技能 / <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 思考・判断・表現 / <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 主体的に学習に取り組む態度) 主体的に学習に取り組む態度	言語の使用場面 ★話題・テーマ 工夫(ストラテジー)
		単元	パート			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	Stage Activity 3 Let's Have a Discussion □自分の立場を明確にして、意見を述べることができる。	100-103	4	自分たちの町の将来について考えるために、自分の立場を明確にして、意見を述べるができる。	◆既習事項の総復習	L・R・SI・SP・W	L・R・SI・SP・W	L・R・SI・SP・W	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> [知識]Unit 7 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> [技能]Unit 7 までの学習事項を用いて、自分の立場を明確にして、意見を述べる技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合っている。(L・R・SI・SP・W) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合おうとしている。(L・R・SI・SP・W)	<span style="color: red;">●</span> ビデオレター <span style="color: green;">▼</span> 意見を言う <span style="color: red;">●</span> ディスカッション <span style="color: green;">▼</span> 賛成する <span style="color: blue;">★</span> 自分の住む町 <span style="color: green;">▼</span> 反対する は世界遺産に登録されるべきか
3	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet □人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。	104-108	5	人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。	◆既習事項の総復習	R	R・SI	R・SI	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">知</span> (R) [知識]時系列を表す文章構成や語句を理解している。 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> (R) [技能]時系列を表す文章構成や語句の理解をもとに、ある人物の生涯について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。(R) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">思</span> 文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えている。(R・SI) <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">態</span> 文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えようとしている。(R・SI)	<span style="color: red;">●</span> 伝記、説明文 <span style="color: green;">▼</span> 描写する <span style="color: blue;">★</span> 星野道夫、アラ <span style="color: green;">▼</span> 説明する スカ、地球温暖化

計 98 時間

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	パフォーマンステスト ペーパーテスト	パフォーマンステスト ペーパーテスト ペアやグループでの話し合い	振り返り ノート 行動観察

学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生や仲間の話、発言を集中して聞きましょう。</li> <li>ペアやグループ活動、アクティビティなどに積極的に取り組み、英語を使う回数を増やしましょう。</li> <li>ワークやデジタル教材を活用して、音源の発音・スピードに近づけるように音読しましょう。</li> <li>わからないときは、まず自分で考えてみましょう。考えてもわからないときは、ペアやグループの仲間にたずねましょう。わからないままにしないようにしましょう。</li> <li>予習(ノートに単語調べや本文写し、音読など)、復習(授業の復習、音読、何度も書いて覚える、ワークブックなど)の習慣をつけましょう。</li> <li>その日の授業でわかったことや気づいたことを振り返り、次の授業や活動につなげましょう。</li> </ul>
--------	---